

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床生理学概論		講義	白川 卓・三好 真琴	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
疾患を客観的に評価する手段として臨床検査データは重要な役割を果たします。現代の医療は臨床検査のデータがなければ成り立たないといっても過言ではありません。本講義では多くの臨床検査の中から日常的に実施される検査項目を中心に解説し、将来医療機関で活躍するときに役立つ内容となっています。さらに毎回データ解説テストを実施することで検査データの解釈が可能となるよう構成しています。				
授業の到達目標				
病院等で活用される基本的な臨床検査データを解説できるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	臨床検査の概要と臨床検査データの読み方の基本			
2	一般検査（尿・糞便などを用いた検査）			
3	血液検査-1（血球数算定、貧血検査）			
4	血液検査-2（白血球の検査、血液凝固検査）			
5	臨床化学検査-1（血清タンパク、腎機能検査）			
6	臨床化学検査-2（血清酵素、心筋マーカー、肝機能検査）			
7	臨床化学検査-3（脂質代謝異常検査糖、脂質代謝異常、電解質検査）			
8	免疫学的検査-1（腫瘍マーカー、ホルモン、炎症マーカー検査）			
9	免疫学的検査-2（肝炎ウイルス検査、HIV検査、輸血検査）			
10	微生物検査（院内感染、スタンダードプリコーション、遺伝子検査）			
11	循環器系の検査			
12	呼吸器系の検査			
13	神経・筋機能検査			
14	感覚機能検査			
15	画像診断検査			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	検査データの基本的な見方・考え方について理解できているかを評価します。		
レポート				
小テスト	35%	前週までに学習した検査データの読み方について毎回小テストを行います（白川）。		
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
看護に活かす検査値の読み方・考え方	村田 満・西崎 統 編	総合医学社		
自由記載	教科書と講義資料を用いて講義します（白川）。講義資料を用いて講義します（三好）。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
なし				
自由記載				
備考				